



2013.2.15
第150号

発行

福島県市町村教育委員会協議会
支会会
会津支会
北会津支会
北会津支会
北会津支会

編集

福島県教育庁
会津教育事務所

編集協力

小・中学校長会

会津に学ぶ



会津教育事務所域内三支会連絡会
会長 新城 猪之吉
(会津若松市教育委員会委員長)

会津は、江戸末期、京を守り天皇を守るために京都守護職を拜命し京へ向かった。しかし、逆賊の汚名を浴びせられ治を生むための痛みとはいえず、あまりにもむごい仕打ちを受けた。しかし、そこに一つの光明があった。最後の殿様である容保公の孫の節子姫が天皇の弟秩父宮へ嫁ぐことになったことである。逆賊の汚名を浴びて六十年後にあたる昭和三年の春であった。

これには会津中の人が喜び、新島八重も喜びの句を詠んでいる。「いくとせか峰にかかれむら雲のはれてうれしきひかりをぞみる」と。また、我が祖父五代目猪之吉も「鶴ヶ城址夏草刈りて明るかり」と句を詠み現在も鶴ヶ城内の公園に句碑が立っている。そして、今、大震災と原発事故により福島県は一番大きな被害を受けた。会津は、地震の被害は一部に留まったが、観光地であり、食の一大産地であることから、放射能の風評被害の影響が甚大である。一昨年は各地から応援の注文が殺到したが、今はパタリである。

しかし、ここにも救いの手があった。NHK大河ドラマに会津の女性「新島八重」を主人公にした「八重の桜」の放送が決定したのである。被災地の復興を願っての企画は、明るい話題となり福島県全体が喜びにわいた。とてもありがたいことである。これで多くの観光客が来てくれるだろう。ドラマを見て、観光に来て、会津の歴史や会津の教育の基礎である日新館の教えや仕の掟を学んでくれるだろう。いじめのことで日本国中の人が悩んでいる。色々な理由があるが、いじめは止まない。しかし、このドラマ、会津への旅を通じて「ならぬことはならぬ」の教えを学んでくれるだろう。これを現代風に変えた「あいづね宣言」を教育の基本にしている本市にも残念ながらいじめはある。この精神を大人も子どもも身に付けた時にいじめはなくなるだろう。会津の精神に注目が集まる今こそ、更に力を入れるチャンスだ。人は見られることにより、より力を発揮するのだ。

各種受賞紹介

敬称省略

- 文部科学大臣表彰
 - 地方教育行政功労者
 - 前柳津町教育委員会教育長 新井田明義
 - 社会教育功労者(公民館活動)
 - 元西会津町公民館長 西会津町 斎藤 宏一
 - 優秀教員
 - 会津若松市立鶴城小学校 教諭 増田 憲子
 - 会津若松市立城南小学校 教諭 菅家 篤
 - 会津若松市立第一中学校 教諭 薄 昌弘
 - 喜多方市立塩川中学校 教諭 久保木貞子
 - 学校保健及び学校安全
 - 喜多方市立塩川中学校(学校保健)
 - 優良公民館
 - 西会津公民館
 - 学校給食
 - 会津坂下町立学校給食センター(共同調理場)
- 文化庁長官表彰
 - 地域文化功労者
 - 会津坂下町 古川 利意
- 県教育委員会表彰
 - 地方教育行政功労者
 - 前北塩原村教育委員会委員 藤田 基吉
 - 前西会津町教育委員会委員 伊藤てる子
 - 学校教育功労者
 - 喜多方市立第一中学校 校長 高梨 光一
 - 福島県立会津高等学校 校長 平岩 典男
 - 社会教育関係功労者
 - 前喜多方市社会教育委員 佐藤 一男

- 社会教育関係功績顕著な団体・施設
 - 喜多方市松山公民館
- 優秀教職員
 - 会津若松市立鶴城小学校 教諭 齋藤 園子
 - 会津坂下町立坂下小学校 教諭 渡部 寿之
 - 福島県立会津学鳳中学校 教諭 小川 茂樹
 - 福島県立会津学鳳高等学校 教諭 福村忠右エ門
 - 福島県立会津農林高等学校 教諭 齋藤 泰靖
- 「児童生徒(団体)」の部 特別功績団体
 - 会津若松市立第一中学校打楽器チーム
 - 会津若松市立第四中学校合唱部
 - 猪苗代町立猪苗代中学校男子バドミントン部(富岡町立富岡第一中学校男子バドミントン部)
 - 猪苗代町立猪苗代中学校女子バドミントン部(富岡町立富岡第一中学校女子バドミントン部)
 - 福島県立若松商業高等学校簿記研究部
- へき地教育関係功績顕著な団体
 - 北塩原村立裏磐梯中学校
- 学校保健功労者
 - 福島県立猪苗代高等学校 学校薬剤師 浅井甚一郎
 - 福島県立坂下高等学校 学校歯科医 猪俣 渉
- 県教職員研究論文
 - 奨励賞
 - 会津美里町立本郷第一小学校(代表:校長 物江伸夫)
- 環境美化教育優良校等表彰事業
 - 環境大臣賞
 - 猪苗代町立翁島小学校

- 県学校関係緑化コンクール(学校環境緑化の部)
 - 知事賞
 - 会津美里町立本郷第一小学校
 - (社)福島県・森林・林業・緑化協会会長賞
 - 会津若松市立立南小学校
 - (財)福島県都市公園・緑化協会理事長賞
 - 会津若松市立湊小学校
 - (財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団理事長賞
 - 金山町立横田小学校
 - 福島県民友新聞社社長賞
 - 会津美里町立本郷第一小学校
- 県学校保健会表彰
 - 学校安全ボランティア活動奨励賞
 - 本郷こまわり隊(会津美里町立本郷第一小学校)
 - 感謝状
 - 福島県立川口高等学校 学校薬剤師 須江 清志
 - 県学校歯科保健優良校表彰
 - 優秀賞
 - 喜多方市立第一小学校
 - 西会津町立新郷小学校
 - 優秀活動奨励賞
 - 喜多方市立熊倉小学校
- 県学校給食会優良団体・功績者表彰
 - 優良団体
 - 湯川村学校給食センター
 - 功労者(調理員)
 - 福島県立会津第二高等学校 調理員 芦澤真知子

総務社会教育課だより

1 平成24年度子ども読書活動推進研修講座

- (1) 日時 平成24年9月26日(水)～28日(金)
- (2) 会場 会津若松市文化センター
- (3) 内容 講演、講義、演習、事例発表、交流会等
- (4) 研修の様子

- ・図書館職員、読み聞かせサークルの方など30名が参加しました。
- ・福島子どもの本をひろめる会顧問の内池和子氏の講演「子どもと読書」は、長年にわたる読書活動の実践をお話しいただきました。
- ・JPIC読書アドバイザー児玉ひろ美氏の演習は、たくさんの絵本を使い読み聞かせの技術などをわかりやすく学ぶことができました。
- ・謹教小学校PTA読み聞かせクラブの事例発表の前に、4年3組の児童の皆さんに実際に読み聞かせを行っていただきました。



2 地域子育てサポートチーム養成研修 (地区別研修B)

- (1) 日時 平成24年10月26日(金)
- (2) 会場 会津稻古堂
- (3) 内容 実践発表、講義、演習、活動紹介等
- (4) 研修の様子

- ・喜多方市家庭教育支援チーム“もも”の幸田久美子氏から実践発表をしていただきました。
- ・福島県養護教育センターの菅野和彦指導主事から発達障害の理解と支援についてわかりやすく説明していただきました。
- ・郡山女子大学短期大学部の准教授滝田良子先生の講義、演習では、子育て支援の実際や課題等について、具体的な事例を通して学ぶことができました。

「今、目指したい授業」について

学校教育課

学習指導要領が、小学校では昨年度より、中学校では本年度より全面実施となりました。2学期は幼・小・中あわせて70回の訪問をさせて頂き、その中で学習指導要領の内容を十分理解した授業が多く見られました。今後さらに、実践が深まるよう会津教育事務所ではホームページに、各教科で目指したい授業の具体例について、右の表の内容で紹介してきました。詳細について、会津教育事務所のホームページ【教科の部屋】をご覧ください。(実践事例集を本年度末に発行・配布予定です。)

国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元を貫く言語活動を位置付ける。 ○ 自分の考えをもたせて交流させ、最終的な考えを書かせる。 ○ 「話し合い」と「伝え合い」を区別して、考えを交流させる。
算数・数学	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元指導構想を作成して指導の見通しをもつ。 ○ 「めあてー学習内容ーまとめ」の整合性を図る。 ○ 自分の考えをもたせ、比較検討の場を設定する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「能力」と「概念」を明確にし、その両立を図る単元構成を計画する。 ○ 本時のめあてを吟味し、確実に評価する。 ○ 課題意識をもたせ、主体的な問題解決の学習がなされるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽に対する感性を育てる。 ○ 共通事項を確実に押さえる。 ○ 「音楽作り(小)創作(中)」「鑑賞領域」を充実する。
体育・保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ○ ねらいやポイントを意識した運動の実践 ○ 言語活動を活用した、楽しい学習の実践 ○ 目標に沿った指導・評価計画の作成と実践
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動の充実(魔法の言葉をいくつ持っていますか?) ○ Input活動とOutput活動の充実(先生方からよく聞く悩みとは?) ○ 生徒の主体的な学びの環境作りの充実(言語活動を支える、大切な脇役?)

特別支援教育の充実のために

学校教育課

「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられて、6年が経ちました。各学校では、個別に配慮が必要な児童生徒への対応や校内支援体制づくりは進んでいるでしょうか?

今回、10年ぶりに文部科学省が通常学級に在籍する発達障がいのある児童生徒の調査を行いました。(岩手、宮城、福島の3県を除く)

前回の調査では6.3%でしたが、今回の調査では6.5%とほぼ同じでした。この割合は35人学級ならば2人程度は在籍していることになります。

<調査の結果から>

○小学校で7.7%、中学校で4.0%の割合で通常学

級に在籍し、いずれも低学年ほど割合が高くなっています。

- 現在及び過去も支援されていない児童生徒の割合が38.6%にもなります。約4割の児童生徒が十分な支援を受けていません。



<支援のポイント>

- ・一人一人の児童生徒の学び方(多様性)の違いを大切にしていきたいと思います。個別の実態に応じた「個別の支援計画」を作成していきましょう。
- ・長期的な視点で乳幼児期から学校卒業までを通じて、一貫した支援を行うことができるように「個別の教育支援計画」の作成を進めていきましょう。



方言研究調査の灯したもの

昭和村教育委員会教育長 本名 幸平

「おどっつぁ、こうだふうに、しゃべってやったあ
のやぁ」「おがぁなんのお、お
らぁつかったごどもねえようなことば、いっぺえ、
ゆってやったっけ」「ほうげんちゅうも、いいもん
だぁぞおなぁ」「そうやれ、そうやれ」「しょうわ
べんしか、しゃべらんにええで、このとしまでい
ぎできたもんなぁ」「おらもだぁ」「にっしゃもが」

三間続きの和室から、ドッと笑い声が響いて
きます。「いやはや、たまげた」などという言葉
も聞こえてきます。いったい誰と誰が集まって、
何と何を語らっているのでしょうか。

じつは方言研究調査が行われているのです。
時は平成24年11月23日、勤労感謝の日。所
は昭和村教育委員会事務局も入っている昭和村
公民館の1階和室。昭和弁丸出して大いに意気
が上がっているのは、70代から80代の村の方々

十数名。朝の9時から協力してくださっているの
です。みんなニコニコ、いい顔です。

村人が発する一つひとつの言葉・イントネーショ
ン・音韻にじっと聴き耳を立てながら、メモをと
り録音し調査をしているのは、会津大学語学研
究センターのK博士、I博士、J博士、学生の
Dさん。I博士とJ博士は外国籍の方。

「言語学や民俗学や昔話のことなら、昭和村の
この方を訪ねてごらんなさい」と、私のことをK
博士に紹介してくださったのは、民話語り部界
の至宝Nさん。

「公民館さ、来てくんつええ」と一声かければ
飛んできてくださる村人の、額の皺の深さ、心
根の優しさ、生き方の温かさ。「方言調査、おもっ
しえなぁ。おらぁだれの言葉、かけがえのない宝
だって、会津大学の博士、ゆいやったぞ。」

我がまちからの情報発信

会津若松市教育委員会

生涯ふるさとを愛した新島八重



この写真
は、会津若
松市の出身
で、同志社
大学を創設
した新島襄
の夫人であ
る新島八重
が、大切に

所蔵していた写真です。この時代の写真は貴重
なもので、新たな発見も数多くありました。

特に、この写真からは歴史資料としても新た
な発見がありました。これまで天守閣にある銃眼
は、長方形と考えられており、昭和40年の天守
閣復元の際もその形となりましたが、この写真に
は、円形と方形の銃眼が交互に配置されていた
のです。

八重(1845～1932年)は、「幕末のジャン
ヌ・ダルク」、「ハンサムウーマン」などと称され、
激動の時代を生き、福島県・会津の誇りを生涯

守り続けた女性です。

昨年、白河市、二本松市、会津若松市の3会
場において、同志社大学に残る八重ゆかりの多
くの遺品等が展示され、八重の生涯が紹介され、
そのなかに新島家所蔵の写真22枚がありました。

写真は、ふるさと会津若松とその周辺地域の
もので、若松城跡(5種6枚)、東山温泉4枚、
円蔵寺3枚、飯盛山の白虎隊の墓3枚、御薬園
2枚とさざえ堂、十六橋、可月亭、磐梯山が各
1枚です。

これらは明治時代中頃に撮影されたものが多
く、八重が会津を訪れた際に買い求めたものと
考えられます。

裏側には、自身の手によるものと思われる墨
書により、場所が記載されているものもあり、時
折見てはふるさと会津を懐かしんでいたのでは
しょう。これらの資料から、ふるさとを生涯愛した八
重の姿が浮かぶとともに、八重は私たちに「写
真」という大きな歴史資料を残してくれました。

平成25年1月から八重を主人公としたNHK
大河ドラマ「八重の桜」放送がはじまりました。
ぜひご覧ください。

作品と指導

絵画

『無の世界』



会津若松市立第五中学校
3年 渡部 大揮

抽象的な平面構成の作品です。主に等角投影図の描き方と鉛筆を使用し、明暗の変化を考えながら、独自の空間を作り出します。無彩色の世界ですが、形や彩色方法・バランスにも個性が発揮されるので、魅力ある題材の一つです。

指導者 庄司 美保

工作

『まろまろフリービー』



北塩原村立裏磐梯小学校
2年 西沢 大和

紙袋やポリ袋を膨らませ立体に変形させ、イメージを広げて、愛着が持てる友達を作りました。自分で作りたい袋を持ち寄り、膨らませた感じが出るように、中に新聞紙を裂いて軽くもみ、ふんわりさせてから袋に入れました。

指導者 佐藤 康子

習字

『花鳥風月』

柳津町立柳津中学校
2年 小川

真愛



行書で初めての「四字」でしたので、用紙に合わせて文字の大きさや配列を調整して書くように指導しました。

「花」の筆脈を意識した線、「鳥」の点画の省略が難しかったと思いますが、最後まで集中して書けたと思います。

指導者 佐藤 陽子

温もりと活力あるまちづくりの実現のため、私が奉職する磐梯町は幼小中の一貫教育を目指した学校経営を教育行政の指針としています。



磐梯第二小学校
教頭
渡邊 かおり

磐梯町に奉職する
教職員として

また、行事の時だけではなく、ふだんの学校生活でも休み時間に高学年と中学生が一緒にサッカーやバスケットボールをして遊ぶこともあります。在外教育施設という特別な環境のためかもしれないが小中連携のヒントがあるような気がしています。



モスクワ
日本人学校
教諭 村松 和弘

在外教育施設に
勤務して

『温かな心』とともに
先日の大雪で、いわき生まれの私は人生で初めての雪かきを経験しました。『先生は初めての会津での雪だから、きっと困っているだろうと思って。』雪があっという間に全てを覆い尽くす様をただ見ていることしかできなかった私に、同僚の先生からそんな一本の電話がありました。たった一本の電話がどれだけ私を元気づけてくれたことでしょうか。人を思いやる温かな心に触れ『なんとかならなければ』という思いになりました。



福島県立会津高校
教諭 山廻邊 綾

『温かな心』とともに

私の抱負